

通信教育部 経営情報学部 システム情報学科 教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）

1. 教育課程の編成及び特色

社会で求められている SE（システムエンジニア）、すなわち企業の経営活動を理解し、最先端の情報技術を駆使して、人にやさしいシステムを実現できる人材の育成を目指したカリキュラムを編成します。

ビジネスの仕組みを理解するための経営分野の基礎的な内容と、情報分野の基礎を築くコンピュータ・情報通信・ネットワークなど、実践的な科目群でカリキュラムを構成します。

学びの目的に応じて「情報技術基礎」、「情報テクニカルスペシャリスト」、「情報システム開発スペシャリスト」、「健康情報」という 4 つのモデルコースを用意します。

2. 教育の内容

本学の授業は、「教養教育科目」「専門教育科目」「教職に関する科目」に大別されます。

「教養教育科目」は幅広い知識の教授、知的訓練、社会の変化に対応できる資質と能力等を育成します。

「専門教育科目」は基礎・応用・発展の 3 つに分類され、学問の専門性を高めていくための学習を行います。

3. 教育の方法

本学の授業は、次の 4 種類の授業形態により実施します。

①印刷授業

- ・教科書・学習用プリントなどを基に自宅等で学習を進めます。
- ・2 単位で 90 時間の学習を標準とします。

②面接授業（スクーリング）

- ・担当教員と対面で授業を行います。1 単位で 3 日間(15 コマ)、2 単位で 3 日間(15 コマ)または 6 日間(30 コマ)、4 単位で 6 日間(30 コマ)の集中授業を行います。

③インターネットメディア授業

- ・e ラーニング教材での学習を行います。
- ・課題や小テストなどを含め 2 単位または 4 単位で学習時間 30～60 時間相当の教材です。

④IP メディア授業（正科生 B のみ履修可）

- ・スタジオから教育センターへ向けインターネットを介した、生放映の授業を行います。
- ・2 単位または 4 単位で 15 コマまたは 30 コマの授業を行います。

4. 学修成果の評価

学修成果の評価は以下の方法で行います。

①印刷授業、インターネットメディア授業、IP メディア授業

- ・原則、試験で評価します。

②面接授業

- ・試験のほか、成果報告・研究発表や実技により評価します。